

上信越自動車道 上田ローマン橋補修設計

特記仕様書

令和 7 年 1 月

東日本高速道路株式会社関東支社
長野管理事務所

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 上信越自動車道 上田ローマン橋補修設計

1-1-2 路線名 高速自動車国道 関越自動車道 上越線

1-1-3 履行箇所 自) 長野県東御市祢津 東部湯の丸 IC
至) 長野県上田市住吉 上田菅平 IC

1-1-4 主な履行内容

項目	数量	単位	備考
現地踏査	1	式	
補修設計 治具設計	6	径間	
打合せ	1	式	
交通費・日当・宿泊費	1	式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和6年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-1-2-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1－4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1－1 3「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式－1）より、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 120 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 360 日間（まで）

1－5 資料の貸与

共通仕様書 1－1 5－1 及び 5－2－3「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	貸与予定日	備考
上信越自動車道 神川橋詳細設計 （その 1）計画概要書 平成 4 年 3 月	契約締結後	
上信越自動車道 神川橋詳細設計 （その 1）設計計算書 平成 4 年 3 月	契約締結後	

上信越自動車道 (東部湯の丸～上田菅平) 完成図 長大橋 上田ローマン橋 平成9年3月	契約締結後	
上信越自動車道 上田ローマン橋 応急補修 詳細設計 報告書 2020年1月	契約締結後	
上信越自動車道 上田ローマン橋 応急補修工事 応急補修検討 2019年8月	契約締結後	
上信越自動車道 上田ローマン橋応急補修 工事 設計図 令和3年3月	契約締結後	
上信越自動車道 上田ローマン橋応急補修 工事 FEM解析検討 概要版 2020年1月	契約締結後	
上信越自動車道 上田ローマン橋応急補修 工事 FEM解析検討 報告書 解析検討 2020年1月	契約締結後	
上信越自動車道 上田ローマン橋変状調査 業務 路面調査結果	調査結果 とりまとめ後	

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
上信越自動車道 上田ローマン橋 変状調査	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	ネクスコ東 日本エンジ ニアリング	東日本高速 道路(株)	成果品の使用 隣接施工

1-7 計画工程表

1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況

を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1－9 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者との協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

第2章 細則

2-1 業務概要

本業務は、上信越自動車道上田ローマン橋上り線において橋梁内部のP C鋼棒の代替の役割を果たしている治具の追加設置に向けた設計を既往業務の設計などを利用して行うものである。

2-2 現地踏査

現地踏査とは監督員の指示に基づき調査・設計に必要な現地踏査のことを指す。受発注者合同で1回、受注者のみで1回の計2回を予定している。現地踏査回数の増減に係る費用は、別途協議の上決定するものとする。現地踏査の標準編成は下表のとおりとする。

(単位 人・日)

	主任技師	技師A	技師B	回数
現地踏査		1.0	1.0	2回

2-3 治具設計

治具設計とは、貸与資料をもとに、既往工事で設置した治具の設計を参考にしながら、現段階で治具が未設置の参考図に示す径間にて、治具の選定・設計を行ったうえで、工事発注に必要な数量計算および図面作成を行うもの。

2-4 打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め下表のとおり6回を標準とする。打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

対面での打合せ場所は、東日本高速道路株式会社長野管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

また、Web カメラ及びWeb 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

(単位 人・日)

	主任技師	技師A	技師B	回数
当初		1.0	1.0	1回
中間(対面)		1.0	1.0	1回
中間(w e b)		1.0	1.0	2回
業務内容 確認検査		1.0	1.0	1回

完了検査		1.0	1.0	1回
------	--	-----	-----	----

2-5 交通費・日当・宿泊費

交費・日当・宿泊費とは、業務の現地踏査・現地作業、対面方式での打合せに必要な交通費・日当・宿泊費のことをいう。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・日当・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・日当・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

2-6 成果品

報告書の表紙は黒色、金文字製本とする。成果品の項目は以下のとおりとする。

設計種別・項目	成果品項目	提出部数	摘要
治具設計	治具位置図	報告書 1 部	
	配置図	電子納品 3 部	
	標準図	(うち 1 部は総研提出用)	
	治具製作図		
	標準製作図		

2-7 補足事項

・本業務および本特記仕様書 1-6 に示す業務の調査結果を踏まえ、上田ローマン橋の補修・経過観察のために、更なる設計・検討が必要と認められた場合は業務の追加を指示する場合がある。

【様式－１】

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）
支社長（所長） 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

（調査等名）

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

１．契約保証取得の日

令和 年 月 日

２－１．発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１．契約保証取得の日の翌日）

２－２．発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１．契約保証取得の日の翌日）

３－１．受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

３－２．受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

３－３．契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１． 契 約 保 証 取 得 の 日 の 翌 日 ） （３－２．受注者が設定した業務の終期）

以 上